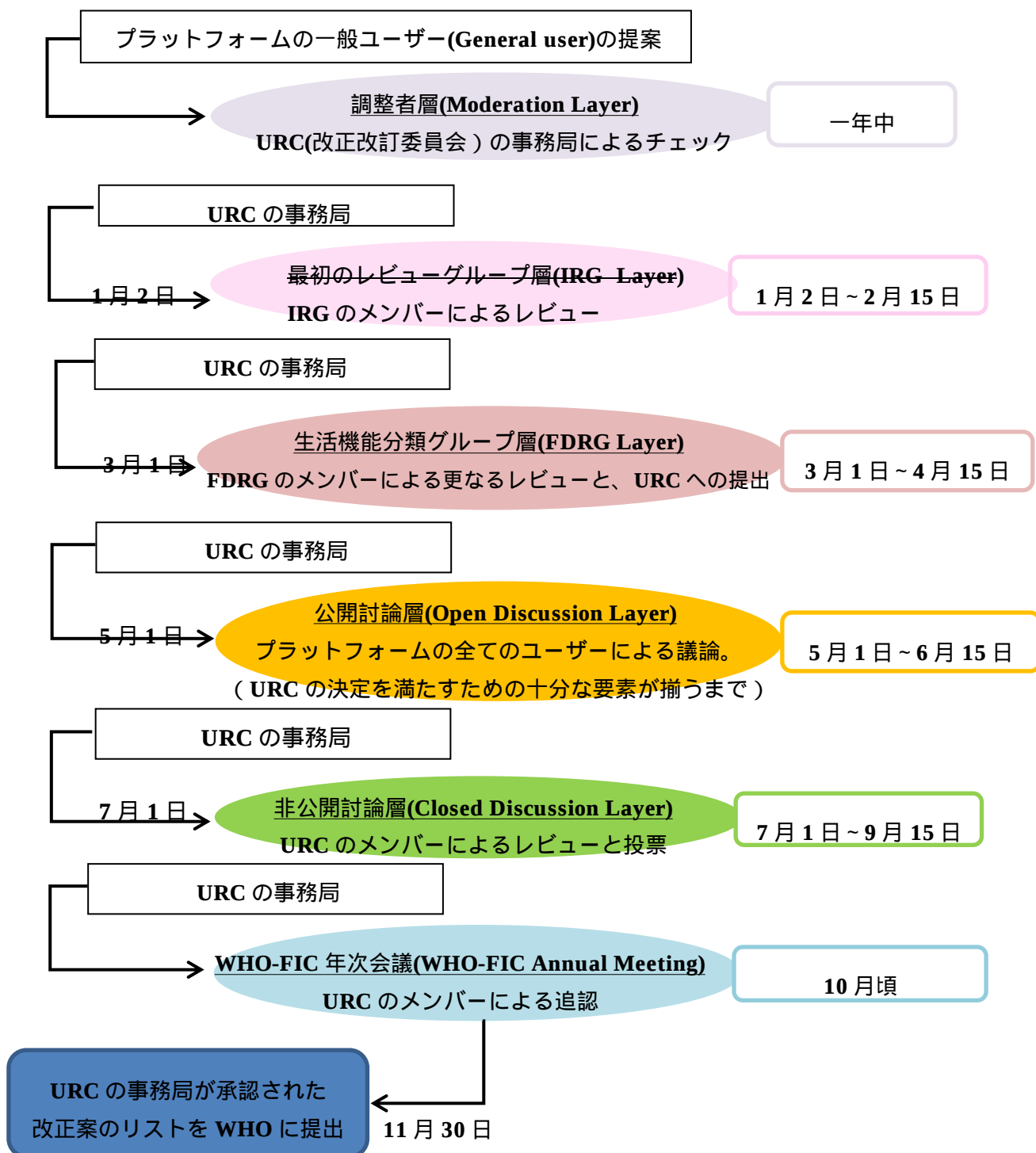


ICF改正の流れ

URC 提案ライフサイクル

プラットフォームに入力された提案は、最終的なステージ（ICF に採択されるか、否決されるか）に到達する前に、いくつかのステージを経ることになる。プラットフォームは、いくつかの層で構成されている（下図参照）。



ICF 改正手続き

調整者層(Moderation Layer) (一年中)

- ・ URC の事務局が、入力された提案が基準に合致しているか、をチェックする。
- ・ 微細な変更や修正は URC の事務局が行う。提案の作成者に修正等の依頼を行うこともある。
- ・ 提案の型（小改正、大改正）の類別を行う。
- ・ URC の事務局のチェックの後に、次の層へ回送される（基準に合わない提案は拒否される）。

最初のレビューグループ層(Initial Review Group Layer) (1月2日～2月15日)

- ・ 提案はまず IRG によってレビューされ、以下の基準に準拠しているかという観点で進められる。

ü ICF の分類概念に適確か	ü 潜在的な要求を処理しているか	ü ICF の構造と内容に一致しているか
ü 付加価値があるか	ü 十分な根拠を含んでいるか	ü ICF のコンセプトと分類上の原則に一致しているか
ü ICF の状況に影響を与えるか	ü エビデンスに基づいた根拠を含んでいるか	ü 標準化されたデータ報告と比較可能性を確かにするという目的と一致しているか
- ・ IRG moderator によって IRG は調整される。
- ・ 追加の情報等が必要であれば、URC の事務局を通じて、提案の作成者に情報等の要求を行う。

生活機能分類グループ層(FDRG Layer) (3月1日～4月15日)

- ・ 提案についてさらなるレビューと議論を行い、次の層へ回送するのに十分なレビューの要素があるかどうかを決定する。
- ・ 可能であれば、「承認」、「拒否」、「修正付き承認」などの勧告を表明する。

公開討論層(Open Discussion Layer) (5月1日～6月15日)

- ・ 提案は公開され、プラットフォームの全てのユーザーによって討論される。
- ・ URC による決定（承認、拒否等）が可能なほど十分なレビューの要素が揃えば、URC の事務局が次の層へ回送する。

非公開討論層(Closed Discussion Layer) (7月1日～9月15日)

- ・ URC のメンバーのみ提案にコメントが可能。
- ・ プラットフォームのレビュープロセスの最終ステップとなる。
- ・ 2～3巡の投票プロセスがコンセンサス形成のメカニズムとして用いられる。

WHO-FIC 年次会議 (10月頃)

- ・ 非公開討論層で承認された提案は年次会議において追認される。
- ・ 非公開討論層でコンセンサスに至らなかったものは年次会議で議論され、採択・否決・継続審議等の決議がなされる。

URC の事務局が承認された改正案のリストを WHO に提出 (11月30日)